

令和3年度第1回三郷市立児童館運営協議会

開催日	令和3年8月3日(火)
開催方法	書面開催
意見等回答期間	令和3年8月3日(火)から9月3日(金)
報告事項	1. 令和2年度後期(10月～3月)事業報告について 2. 指定管理者に係る令和2年度事業報告について 3. 令和2年度後期モニタリング評価報告書について
委員氏名 (意見書等提出者12名)	会長:北澤 富美、副会長:石原 沙織、岩間 かおり、徳永 順子、榎本 美穂、濱松 紀子、井上 直美、川口 奈津美、櫻井 早希、小柴 彩、佐藤 明美、大河原 正行

報告事項

1. 令和2年度後期(10月～3月)事業報告について

【表決】 承認:13 反対:0

【ご意見等】

《新型コロナウイルス感染症の影響について》

- ・コロナウイルスが広がる中、たくさんのアイデアを出しながら運営している。
- ・コロナ禍による制限があり、運営にもいろいろ影響があったと思う。ダンスやすいか割りなど親子共々、思い出に残る楽しいイベントができないことが残念。その中でも児童館へ行くと制作や体育館での遊びなどで楽しく過ごすことができた。
- ・児童館施設利用者の数も大幅に減少、各児童館やセンターで企画していた催し物も感染予防でほとんどが中止という現状がとても残念です。
- ・コロナ禍で利用者が減ったり、中止する企画が増えるのも仕方ないと思うが今は踏ん張り時。子育て中は児童館での出会いは大切。1人で子育てしているという孤独感が大きくなるないように、見守れたらと思う。
- ・2度の利用休止があった中、どの児童館も試行錯誤を重ね、さらに感染予防対策をしながらの運営は大変な労力かと思われる。準備をしても、急遽中止せざるを得ないことも多く利用者への対応も大変だと思う。
- ・コロナ禍以前に比べて絶対数は減少していると思うが、報告書を見ると参加人数が結構いたことが印象的。それに比べ、Zoomなどのオンライン事業は参加率が低いように感じる。児童館は直接行って、先生やお友達と交流するのが楽しく、重要なポイントと思う。感染対策はとても大変だが、今後も直接参加出来るイベントがあると楽しみができる。延期などになった「おまつり」もみんなが楽しめるような企画になることを期待している。

《事業等の工夫、感染防止対策について》

- ・人数を制限し、時間帯も分けてはいたが、子どもたちが沢山の事業に楽しく取り組めたのが書面からでも想像できた。工作で持ち帰りのキットを渡すように工夫したりZoomまで利用してすごいと思う。
- ・子どもたちは色々なものを借りて返すを繰り返し、貸出が終わると消毒をするのはとても大変な作業かと思う。そんな中、少しでも子どもたちが楽しく過ごせるように尽力して下さるのを陰ながら感じている。これからも地域の子どものため、家族のために力を貸して欲しい。
- ・今後も完全なコロナ終息までは、しばらく時間が掛かると思うので、従来通り感染対策をしっかり行い、参加できるものを検討していれば良いのかな

と思う。

・学校では感染予防対策を徹底して行っている。児童館等では、子ども達が高くなるについで甘えがでまわらないか（マスクが正しくできていないとか手洗いがしっかりできないか）心配。学校も家庭も地域（市の施設を含む）も、双方で見学等ができると同じように対策がとれていいと思う。

・以前よりも現在（R3.7月）は利用できるものが増えたり、入館票や消毒などもわかりやすくなっている。また他の人が使用したものは必ず消毒するように徹底されているのが利用する側からみても安心できる。

《利用制限について》

・乳幼児の保護者は子どもの成長や様子を相談したくて児童館を利用することが多いと思うので人数を制限しながらでも、子育ての悩み相談や親子で楽しめる企画を積極的に行って欲しいと思う。

・我が家は幼児と小学生の姉妹のため、利用条件が異なり少し過ごしづらい点がある。上の子はバドミントンや卓球がやりたいが下の子が幼児の場合は一緒にコートへ入る事が禁止されていた。そうすると下の子が1人になってしまい諦めるしかない。下の子は椅子に座って見るなどできたらいいと思う。

また、夏休み中である為、体育館でのボール遊びが禁止されている事も少し残念。

【事務局】

・バドミントンや卓球のゾーンについては安全のため、幼児は入らないようお願いをしている。兄弟での利用については、安全に配慮しながら、対応していく。また、夏休み中のボールの利用については、安全面を考慮しながら、今後検討していく。

《オンライン事業や動画配信について》

・Z o o mでの実施は、感染対策のため児童館への外出を控えているご家庭にとってはかなり画期的なものではないかと思う。閉じこもると気持ちも塞ぎ込むので、他愛のない話や気になることを相談できたり、子ども達には外からの刺激にもなって良かったのではないかなと思う。ただ、やはり実際に会ってのコミュニケーションは子どもにとっても親同士でもとても大事だと思うし、Z o o mという環境に緊張してしまう方や、兄弟が多くてうさいななど家族の問題で遠慮してしまう方もいるのかなと思う。ブログや動画配信など、私が知らなかったことをどの児童館もやっていたので、気にして見てみようと思う。私の様に、知らずにその機会を逃している方も多いかもしいので、周知するのがやはり難しいように感じる。

・各児童館のホームページも充実しており、動画配信で出来る事業が増え、工夫して作成された動画は、スマートフォンでも簡単に見ることが出来てとてもよいと思う。Z o o mなど参加型ものは、利用者の方に浸透するまでは時間が掛かるのでしょうか。デジタル的なものに抵抗感があったり環境が整っていなかったりと様々な要因はあると思う。

・SNSなどでイベントなどを発信すると親目線ではとても情報収集しやすくてよい。小学生の子どもはタブレットが配布されているので使い方講習やプログラミングなど、うまく活用できたらと思う。

・休館中でもZ o o mを使用した開催や動画配信などで、利用者の要望に対応し、結果的にそれが新規利用者を増やすきっかけになっていることは素晴らしいと思う。コロナ禍の現状ではこういった対応が今後にも必要になるので、コンテンツを増やしていくとよい。

・HP、ブログ、動画配信、Z o o mアプリ等のオンライン手法で新しい時代のニーズにあった運営の形を築いたと感じた。以前から、会議の場で来館者数を増やすために児童館の存在を周知する方法を模索していたが、動画配信事業の参加がきっかけで初めて来館した方がおり、新たな周知方法が見つかったのではないか。

・友達で幼児向けサロンを利用する保護者に聞いたが、子育てサロンをZ o o mでやってくれるのはいい考えだけど、利用しづらく、結果的に児童館からも足が遠のいてしまったようである。もう少し幼児（0～3歳向け）のものや小学生向けのもので、対策をしたうえで利用できるものが増えるとより利用しやすいと思う。なかなか外出しづらいので、児童館をより活用できるようになるといいと思う。

・今後オンライン化も進んでいく中で、子ども達が人とどのように接して触れ合っていくのか、児童館を通してみんなで考えていきたいと思う。

【事務局】

・コロナ禍ではあるが、コロナへの対策をしつつ、事業として出来ることとできないこと、市外の児童館の感染症対策を参考にするなど、模索しながらの半年であった。Zoom等を利用したオンラインによる事業を実施し、自宅から外出することが難しい利用者にもサービスを提供することができた。

2. 指定管理者に係る令和2年度事業報告について

【表決】 承認：13 反対：0

【ご意見等】 なし

3. 令和2年度後期モニタリング評価報告書について

【表決】 承認：13 反対：0

【ご意見等】

利用者からの意見として幼児と小学生と一緒にできる行事を実施してほしいとの要望があると知った。私もこの意見に賛成。ウィンターパーティー以外にも何か出来る事があれば良いと思う。また塗り絵も今は2種類からの選択制だが、2種類とも幼児向けの場合があり（小学生が流行りのキャラクターを楽しみにしているため）、もう少し種類を増やして小学生も楽しめる塗り絵も用意して頂けたらありがたいと思う。

【事務局】

・コロナウイルスの感染防止対策の観点から幼児と小学生と一緒に参加できる事業を分けているが、塗り絵の種類を増やすこととあわせて、感染状況を見極めながら検討していく。

4. その他

《その他》

・近所の未就園児を抱える保護者にも、トイレトレーニングの相談をされた時に児童館が近所にあることや児童館の先生方にも相談できることを伝えた。実際に一緒に行けるとよいのだが…。子どもや保護者の年齢も違い、アドバイスの仕方も難しいなど感じている。

・学校でのPTA行事なども例年と同じようにできず悩んでいる。学校ではできないフェスタ等を児童館と協力しながら行うことで、児童館に行ったことがない子も、その行事を通して児童館を知ることができる。

・今回も紙面会議であったが、自分のタイミングで資料を確認でき、事業報告も紙面のため聞き漏らすこともない。そういう面でよかったと思う。

・令和3年度の事業で新たな取り組みとして報告があった、児童館のない地域への移動児童館や中高生タイム（居場所の提供）の実施について進捗状況はどうなっているか。

【事務局】

・学校でのフェスタ等を児童館と協力しながら行うことについては、コロナ禍前の規模での開催ができていないため、今後の検討とさせていただきます。

・移動児童館は、まずは未就園の児童を対象として、三郷中央駅前にあるにおどりプラザで9月15日に早稲田児童センター、10月27日に南児童センターが主催で実施した。工作や手遊び等児童館のない中央地区で開催したことによって、中央地区の参加者がほとんどであった。

大変好評であったため、今後は小学生も対象に入れて実施していく。

北児童館では令和3年6月から中高生の居場所事業として「Kita café」を始めた。第3日曜日の午後、1回5人まで1時間ずつ自由に卓球やゲームなどで過ごすことができる。まだ参加者は少ないので、市内の中学校や高校に対し、工夫して周知していく。

・昨年度後期は制限がある中でも感染対策を行いながら少しずつ事業を再開した。開催できる事業が増えると、利用者も増えていった。

オンライン事業についてはHPや公共施設、商業施設へのポスター掲示で周知をしたが、参加者がなかなか集まらず、さらに周知が必要と考えている。自宅も『つどいの広場』に参加出来るようにと内容を計画してきたが、施設が開館している現在は、初めてのお子さんで友達がない方、外出がに居て難しい方などを対象にした内容を考えて計画するとともに、コロナ禍で学校との連携が薄くなってしまっているのを、以前のように情報交換の機会を持てるように検討していく。

・児童館・児童センターは感染症対策を行いながら令和2年度後半から事業を再開した。しかし入館制限や参加人数の制限、内容の変更などは避けられず入館者は減少した。その分オンラインで行う事業なども少しずつ実施し、新規利用者の確保にもつながった。対面での事業の要望も多く、子どもたちにとってもふれあいながら活動することが大切である。今後も感染防止対策を取り、内容などを工夫しながら事業を実施していく。